

第42回例会報告(5月19日)

【出席報告】

- ・会員数 59名 ・出席数 33名 ・欠席数 26名
 ・当日出席率 67.35% ・前々回修正出席率 100% 25回目
 <欠席会員> 青野、原田、檜垣(巧)、門田、菅、川上、吉良、近藤(正)、宮本、村上(裕)、尾越、佐伯、佐藤、竹田、田中、渡邊(一)
 [免除会員] 原(真)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、坂本、白石(天)、高木、宇高、八木
 <4/28欠席補填> (4/24地区協)原(竜)、平尾、飯、久米、村上(修)、西信、越智(務)、矢野、(4/25今治北)佐藤、(5/2今治北)天野、青野、檜垣(巧)、門田、川上、真部、松木、村上(裕)、白石(洋)、玉井、(5/6道後)宮本

- 会長報告・真部淳会員から退会申請があり、理事会で協議し受理しました。
 幹事報告・先週の緑の募金は28,700円集まりました。ご協力ありがとうございました。
 ・職場訪問例会の案内；6月2日(木)12:30~13:30、原印刷(株)にて。
 ・回覧物；「友」インターネット速報、ボランティア情報、他

社会奉仕委員会アワー

村上修三社会奉仕委員長

今治にしかないものとして、多くの絶滅危惧種も生育する今治城の豊かな自然について講演して頂きます。

NPO法人愛媛生態系保全管理 理事 小澤潤氏

今治城築城400年イベントとして今治城の自然環境について調査したところ、全国でも珍しい貴重な生物の生育する自然環境に恵まれた素晴らしい城であることがわかりました。今治城の自然環境は人々が管理してきた里山的要素の強い二次的自然で、植物を中心としており、石垣の木や大きな草を除去し、犬走りなどの草刈りを定期的に行い守ってきたものです。今治城は生き物の数、その量、景観とともに全国に例を見ない城です。特に瀬戸内海の昔からの崖地を再現したような雄大なツメレンゲ、ヒメウラジロ、オニツルボなどの絶滅危惧種植物の大群落と一年中飛び交うクロツバメシジミの姿は壮観です。その他、明治以降、外来種のオオイヌノフグリに駆逐された日本固有のイヌノフグリ、ナズナ(ペンペン草)に似たシロイヌナズナ、ツクシタンポポ、ハマサジ、アキノミチヤナギなどの貴重な植物も見られます。また、石垣などに紅まだらという海草が付着しているため、日暮れ時には堀が赤く染まります。堀には40~60cmのタイ、ヒラメ、チヌ、スズキなどや、ボラ、マゴチ、カタクチイワシ、マハゼなどの海水魚の他に、ヌマチチブ、メダカなどの淡水魚もいます。塩分濃度測定では海水38%、真水11%、その中間もあり、今治城の下より水が湧き出するためです。このような堀の多様な生き物は、是非、後世に残していきたい素晴らしい遺産だと思います。



<ゲスト> NPO法人 愛媛生態系保全管理 理事 小澤潤氏

次回例会(5月26日)

【会員卓話】 吉田 透氏

- | | | |
|---------|--------------|-------------|
| <会員誕生日> | 冠 康秀氏(5/29) | 久米 操氏(5/30) |
| | 吉武 誠治氏(6/2) | 矢野 暢生氏(6/5) |
| <夫人誕生日> | 青木 収氏(6/5) | 松本 篤氏(6/8) |
| <結婚記念日> | 村上 修三氏(5/27) | 重松 宗孝氏(6/3) |
| <入会記念日> | 松木 徹夫氏(6/4) | 渡邊 道信氏(6/4) |

〔献立；健寿司〕